

2013/2/18  
菊地（北大）

### 第3回巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会議事録

日時：2013年2月18日（月） 10:00～12:00

場所：建築会館304号会議室

出席者：福和、久田、松村、田辺、村上、塩原、大月、菊地（敬称略）

提出資料：

- ・第2回巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会議事録（案）
- ・東日本大震災2周年シンポジウム（案）
- ・大会総合研究協議会「東日本大震災から2.5年—建築学会の取り組みとこれから」
- ・会員住所情報の利用結果について
- ・東日本大震災2周年シンポジウム「学会の活動報告」（案）
- ・活動報告（東日本大震災2周年シンポジウム原稿）（塩原）
- ・震災対応・環境工学分野・単行本の出版企画について（田辺）
- ・刊行企画書（田辺）
- ・活動報告（東日本大震災2周年シンポジウム原稿）（大月）

<議事>

#### 1. 議事録の確認

- ・原案通り承認

#### 2. 東日本大震災2周年シンポジウム

- ・初日は研究助成の成果発表
- ・2日目午前は10団体の報告
- ・本調査委員会の発表・討論は2日目午後、午後1時～6時
- ・資料のとりまとめは佐土原委員が行っている。

#### 3. 2013年全国大会総合研究集会

- ・タイトル：東日本大震災から2.5年—建築学会の取り組みとこれから
- ・初日（8/30）の午前＋午後、開会式に続いての開催となるか？
- ・討論は5WG＋河田先生＋中島先生
- ・原発②省エネルギー設計は、望月悦子氏（千葉工大）に交代

- ・塩原、大月は大学院入試面接により初日の参加は無理なので、WG 幹事等へ交代が必要

#### 4. WG 活動報告

##### (1) 塩原 WG (資料あり)

- ・主活動は今年度で終わり、次年度は資料をまとめる。提言をもうすこし具体的かつ読みやすく、わかりやすく書き直す。
- ・以下の3提言をしたい。提言1：自己責任、提言2：総合耐災害性能、提言3：マルチハザード
- ・現状では提言のみで止まってしまう。3月のシンポ(15分)では発表しきれない。
- ・ミニシンポジウムなどを開催し、社会との接点の場を設ける必要あり。社会への啓発を促す場があってもよい(福和)

##### (2) 久田 WG (資料なし)

- ・出版物を来年度中に予定。そのため、活動をもう1年延長したい(活動形態は別途、相談)。本の最終形は未定。
- ・性状実態把握、非構造部材性能、即時災害対応、被災実態把握、DCP(District Continuity Plan) 地域内連携という観点で、大都市特有の課題・問題について整理している。

##### (3) 田辺 WG (資料あり)

- ・震災対応特別委員会を2つ発足させ活動しているが、今年度で終了。
- ・当初は2冊を予定していたが、1冊目の内容は委員会報告書へまわし、2冊目を刊行したい。配布資料は2冊目の刊行企画書である。特別調査研究委員会には叢書を出す権限はないが、本企画書では叢書の2,000円、2,000部に準じて、価格と部数を設定した。

##### (4) 大月 WG (資料あり)

- ・大会8/30の発表は、岩佐委員(新潟大)に交代。
- ・仮住まい、復興は現在進行形であり、いまだに委員が現場にはりついている。
- ・対応②命をつなぐための建築計画、対応③生活を成り立たせ、日常生活を回復する仕組みについて説明。
- ・次年度の活動は、提言をより具体的に示していく。提言のみでは一方向なので、ミニ集会で社会との接点をつくり、意見を求める。

#### 学会・酒井氏より

- ・社会ニーズの岩田委員長より、本調査委員会では提言委員会とは別に、報告書を踏まえたシンポジウムを企画し、5WG共通のアウトプット(WGが一緒になったシンポジウムなど)を出すようにとの指示あり。
- ・すでに2つ(2013/3 東日本2周年、2013/8 大会)を開催予定であり、H25年度最後にもう1回開催する。

- ・出版に関しては、刊行委員会の下に編集委員会を設けて、活動を続けるという方法がある。2年で一度切って、3年目は編集委員会に名前を変えて活動を続ける。査読は刊行委員会で行う。査読には半年をみる必要がある。特別調査委員会の場合、継続が期待できないので叢書より単行本の方が好ましい。

#### 5. 今後の活動

- ・最終報告書は最低20～30頁程度、各WG4、5頁でよい。
- ・東日本大震災3周年の5WG合同の成果報告シンポジウムをH25年度最終に開催し、資料をアウトプットとして残す。
- ・各WGはH25年度内にワークショップを開催。大会直後に内容を固め、9～12月で開催する。
- ・シンポ資料とWS資料は成果報告書に用いる。
- ・WSの経費（旅費・資料）はWSごとでまかなう。
- ・大会研究協議会資料の原稿締切は7月上旬

#### 6. 今後の予定

- ・第4回委員会

日時：2013年6月3日（月）17:00～19:00

内容：新年度1年間のスケジュールとまとめ方を報告。

各WGで次年度のワークショップの開催計画を持ち寄る。

以上